

フィリピン共和国での揚水発電事業への参画

2026年7月29日

関西電力株式会社

当社は本日、フィリピン共和国におけるワワ揚水発電事業（以下、本事業）に参画するため、プライム・インフラストラクチャー・キャピタル社の子会社であるピーエムジェイブイ社の株式取得に関する契約を締結しました。

本事業は、当社にとって初めての海外揚水発電事業であり、ルソン島南部に最大出力60万kWの可変速揚水発電所を建設し、2030年から運転を開始する予定です。

この契約により当社は、共同持ち株会社であるピーエムジェイブイ社の株式の14%を取得することで、ワワ揚水発電事業の特別目的会社であるオリンピア・ビオラゴ・ウォーター・アンド・パワー社の12.18%の権益を間接的に取得しました。今回の出資により当社の海外事業における持分容量は、合計約250.0万kWとなります。

当社は、本事業を通じて得られた知見等を活用するとともに、引き続き、国内外における再生可能エネルギーの普及・拡大に取り組み、ゼロカーボン社会の実現に貢献してまいります。

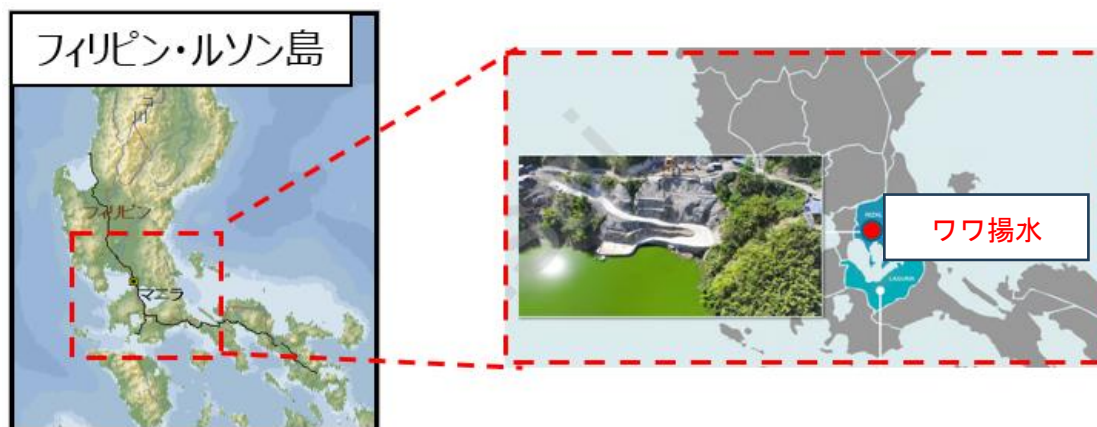
以 上

<ワワ揚水発電事業の概要>

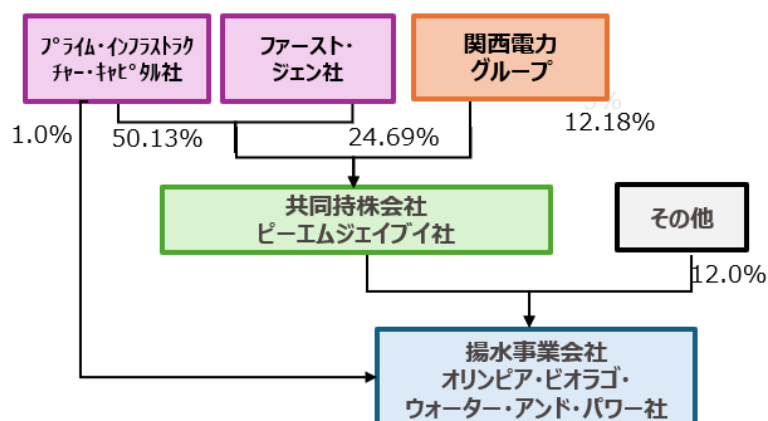
事業会社	オリンピア・ビオラゴ・ウォーター・アンド・パワー社
実施場所	フィリピン共和国ルソン島南部
発電方式	可変速揚水発電
最大出力	60万kW（30万kW×2基）
出 資 者	プライム・インフラストラクチャー・キャピタル社：51.13% ファースト・ジェン社：24.69% 関西電力グループ※：12.18% その他：12.00%

※当社は100%子会社であるケーピック・ネザーランド社を通じて出資

<位置図>



<スキーム>



※（％）は揚水事業会社（オリンピア・ビオラゴ・ウォーター・アンド・パワー社）に対する持分を示す

<各社の概要>

社 名	プライム・インフラストラクチャー・キャピタル社
所 在 地	フィリピン共和国
代 表 者	ギョーム・ルッチCEO
事業概要	水、エネルギー、廃棄物処理、持続可能燃料等に関するインフラ事業の開発・運営

社 名	ファースト・ジェン社
所 在 地	フィリピン共和国
代 表 者	フェデリコ・アール・ロペスCEO
事業概要	天然ガス、地熱、水力、風力、太陽光等による発電事業

社 名	関西電力株式会社
所 在 地	大阪府大阪市北区中之島3丁目6番16号
代 表 者	取締役代表執行役社長 森 望
事業概要	電気事業、熱供給事業、電気通信事業、ガス供給事業 等